

平和行動 in 広島 報告

日 程 : 2022年8月5日(金)~6日(土)

参 加 : 5名

1. 被爆路面電車乗車学習会への参加

1945年8月6日に原子爆弾の被害を受けた広島電鉄の路面電車に乗車して、広島市内の被爆建物等の見学に参加しました。

連合広島の青年委員会が広島市内に現在も残されている被爆建物や当時の被害を受けた状況を丁寧に説明してくれました。



2. 連合・原爆死没者慰霊式

路面電車の乗車学習会の後に、広島平和記念公園原爆ドーム前にて、原爆の被害で亡くなられた方々を偲び、慰霊を慰めるため献水を行いました。



3. 平和記念資料館の視察

広島平和記念公園にある平和記念資料館を見学しました。

館内には、被爆者の遺品や被爆の惨状を示す写真や絵などの資料が展示されています。また、核兵器の危険性や被爆前の広島について学ぶことができました。

4. 被爆77年連合2022平和ヒロシマ集会への参加

広島産業会館西展示室において開催された、連合主催の「被爆77年連合2022平和ヒロシマ集会」へ参加しました。集会には全国から1,035人が参加しました。

参加者全員で黙とうをしたのち、芳野会長の挨拶、広島県、広島市、原水禁、KAKKINの来賓紹介とあいさつに加え、国際労働組合総連合のシャラン・バロウ書記長からのビデオメッセージを視聴しました。

集会の中で「広島県被団協・被爆を語り継ぐ会 切明千枝子氏」から被爆体験や高校生平和大使の活動報告や今後の抱負などを受けました。

連合広島から連合長崎へピースフラッグが手渡され、最後に平和アピールを採択して集会は終了しました。



【事務局の感想】

8月は広島・長崎の原爆、終戦と戦争の惨状を思い返す月となります。現在も世界では戦争や紛争が起きています。特にロシアによるウクライナ侵攻は核兵器の使用を示唆する発言もあり非常に残念です。

戦争経験者が高齢化していく中で、戦争経験のない私達が、日本の歴史を伝え平和を訴えなければなりません。高校生平和大使の言葉の「ビリョクだけどもリョクじゃない」を胸に、今回、見て聞いたことを一人でも多くの人に伝え、世界が平和になるよう活動を続けていきたいと思えます。